# 令和元年度

環 境 騒 音 及 び 交通騒音・振動調査報告書

# 令和3年2月

長崎県県民生活環境部

# 目 次

# 第1部 令和元年度環境騒音調査結果

Ē	周査目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
Ė	周査概要 関査概要	
1	······ 調査実施機関及び調査の種類 ·····	1
2	調査期間 ••••••	1
3	調査地域及び調査地点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
4	測定方法等 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3
È	開査結果 The Control of	
1	騒音レベルの状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2	環境基準の適合状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第2部	令和元年度自動車騒音・道路交通振動調査結果	
È	B 直 で 関 さ は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	
1	調査実施機関 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2	調査地点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3	調査方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
È	周查結果 開查結果	
1	自動車騒音(環境基準関係) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2	自動車騒音(要請限度関係) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3	道路交通振動 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 2
ē	まとめ	1 4
第3部	令和元年度航空機騒音調査結果(長崎空港・大村飛行場周辺)	
ŧ		
1	長崎空港の現況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5
2	調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 8
3	調査結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0
4	まとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0

大	村飛行場周辺		
1	大村飛行場の現況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 0
2	調査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 1
3	調査結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 2
4	まとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 3
参考資料			
(騒音に	係る環境基準)		
1	環境基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 4
2	騒音に係る環境基準の類型指定状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 5
(自動車	騒音・道路交通振動、航空機騒音関係)		
1	自動車騒音の要請限度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 7
2	道路交通振動の要請限度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 8
3	航空機騒音に係る環境基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		2 9
4	自動車保有台数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3 1
測定結果			
付表 1	令和元年度環境騒音定点測定結果 ······	3	2
2	令和元年度自動車騒音測定結果(環境基準関係) ・・・・・・・・・	4	2
3	令和元年度自動車騒音測定結果 ( 要請限度関係 )	4	3
4	令和元年度道路交通振動測定結果 ······	4	5

# 第1部

環境騒音調査結果

# 第1部 令和元年度環境騒音調査結果

### 調査目的

騒音に係る環境基準は、環境基本法第16条第1項の規定に基づき騒音に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として定められたものであり、行政施策を推進するうえでの目標となる。

本県では、昭和58年度より騒音に係る環境基準の類型指定を主要な区域から順次実施し、令和2年3月31日現在、13市7町において類型指定を行っている。

なお、環境基本法の改正により、平成24年4月1日から市の区域についてはそれぞれ の市が、町の区域については県が類型指定を行っている。

これらの類型指定地域における環境騒音の現況と経年的な動向を把握することを目的として、5市2町が測定を実施した。

#### 調査概要

### 1 調査実施機関及び調査の種類

調査の種類	実施機関(関係市町)							
定点調査	長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、 長与町、時津町(5市2町)							
	按⇒┗∫、┗┩╪╙∫(ऽ□12╙∫							

#### 2 調査期間

調査名	市町名	調査期間	市町名	調査期間
	長崎市	H31. 4.15~R1. 6. 6	大村市	R1.10.16~R2. 3.5
定点調査	佐世保市	R1.10. 7~R1.12.24	長与町	R1.11. 6~R1.12.12
<b>上</b> 出副且	島原市	R2. 2. 4~R2. 3.25	時津町	R2. 1.20~R2. 3. 6
	諫早市	R1. 6. 5~R2. 3.12		

### 3 調査地域及び調査地点

市町ごとに各類型指定地域を代表する149地点(A類型:54、B類型:49、C類型:44地点、その他:2地点)について、環境騒音の調査を実施した。

各市町の調査地点数は表1-1及び表1-2に示すとおり。

表1-1 各類型区分の調査地点数

類型区分	都市計画区域 用途区域	長崎市	佐世保市	島原市	諫早市	大村市	長与町	時津町	į	it	
	第1種低層住居専用地域	4	3	1	6	4	7	4	29		
	第2種低層住居専用地域										
A 類 型	第1種中高層住居専用地域	8	5	1	2	2		3	21	54	
一流	第2種中高層住居専用地域					3			3		
	用途地域外	1							1		
	第1種住居地域	12	4	1	6	9	2	6	40		
B *5	第2種住居地域									40	
B 類型	準住居地域	1	2						3	49	
	用途地域外	2		1	3				6		
	近隣商業地域	3	1			1	2		7		
_	商業地域	6	9	1	1		1	1	19		
C 類 型	準工業地域	2	3	1	1	6		1	14	44	
工工	型		1	1					3		
	用途地域外		1						1		
	その他		2						2	2	
	合 計	40	31	7	19	25	12	15	1	49	

表1-2 調査地点数の推移

年度	<u> </u>	平成2	7年月	芰	<u>7</u>	平成2	8年月	芰	<u>7</u>	平成2	9年月	ŧ	<u>7</u>	平成3	0年月	芰	{	令和え	<b>元年</b> 原	ŧ
市町名	A 類型	B類型	C類型	計	A 類型	B類型	C類型	計	4類型	B類型	C類型	計	4類型	B類型	こ 類型	計	4類型	B類型	C類型	計
長崎市	15	19	16	50	15	19	16	50	15	19	16	50	15	19	16	50	13	15	2	40
佐世保市	8	7	14	29	8	7	14	29	8	7	14	29	8	7	14	29	8	6	15	29
島原市	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7
諫早市	9	9	2	20	9	9	2	20	9	9	2	20	9	9	2	20	8	9	2	19
大村市	9	9	9	27	9	9	9	27	9	9	9	27	9	9	9	27	9	9	7	25
長与町	7	2	3	12	7	2	3	12	7	2	3	12	7	2	3	12	7	2	3	12
時津町	7	6	3	16	7	6	3	16	7	6	3	16	7	6	3	16	7	6	2	15
合 計	57	54	50	161	57	54	50	161	57	54	50	161	57	54	50	161	54	49	44	147

<sup>\*</sup>その他の地点は除く。

#### 4 測定方法等

#### (1)測定方法

騒音の測定方法は、日本産業規格Z8731によるものとした。また、周波数補正特性はA特性、動特性はFASTとし、実測時間は24時間とした。

#### (2)評価手法

騒音の評価手法は等価騒音レベル(Leq)によるものとし、基準時間帯ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価した。

#### 調査結果

#### 1 騒音レベルの状況

県下の全測定地点の類型別・時間区分別の等価騒音レベル(Leq)の算術平均値を表1-3に示した。

類型別では昼間、夜間共にC、B、Aの順で高い値であった。 また、時間の区分別では、昼間が夜間より7~9デシベル高い値であった。

表1-3 類型別・時間区分別の等価騒音レベル (Leg) の算術平均値

	51 5—75 75 75	31113211 (	- 17 - 21 112 1 21—					
		時間の区分						
地域の類型	測定地点数	昼間	夜間					
		(6時~22時)	(22時~6時)					
A類型	54	48デシベル	39デシベル					
B類型	49	49デシベル	41デシベル					
C類型	44	53デシベル	46デシベル					

<sup>\*</sup>その他の2地点は除く。

なお、測定を実施した各地点における個々の調査結果を、付表-1「環境騒音 定点測定結果」(p32~p41)に示した。

## 2 環境基準の適合状況

#### (1)適合状況の経年変化

過去5か年間の適合状況を図1-1に示した。

令和元年度、調査を実施した147地点(その他の2地点は除く)のうち環境基準に適合したのは、昼間が144地点(98%)、夜間が138地点(94%)、二時間帯とも適合したのは137地点(93%)であり、二時間帯の全てが不適合の地点は佐世保市の2地点(2%)であった。不適合の原因としては、交通騒音の影響が主なものであった。

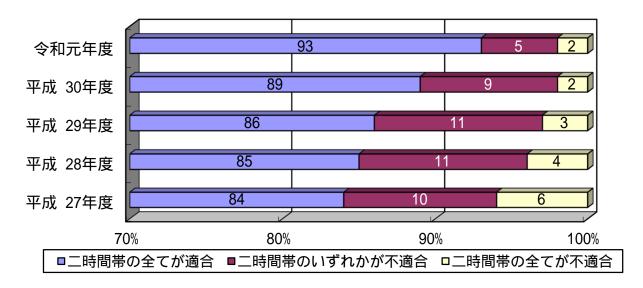


図1-1 環境基準の適合状況の経年変化

## (2)類型別・時間区分別適合状況

類型別・時間区分別適合状況を図1-2に示した。

A類型の54調査地点のうち「二時間帯」の全てが環境基準に適合していたのは53地点(98%)、「二時間帯」の全てが不適合の地点はなかった。また、時間区分別の適合状況は、昼間100%、夜間98%であった。

B類型の53調査地点のうち「二時間帯」の全てが環境基準に適合していたのは45地点(92%)、「二時間帯」の全てが不適合の地点はなかった。また、時間区分別の適合状況は、昼間98%、夜間94%であった。

C類型の49調査地点のうち「二時間帯」の全てが環境基準に適合していたのは39地点(89%)、「二時間帯」の全てが不適合は2地点(5%)であった。また、時間区分別の適合状況は、昼間95%、夜間89%であった。

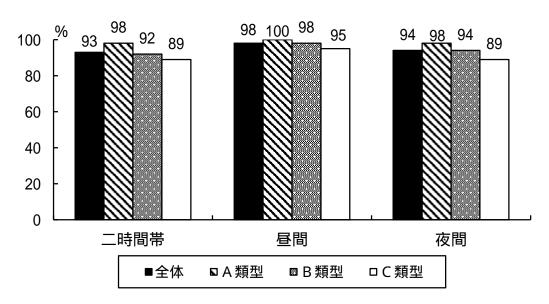


図1-2 類型別環境基準の適合状況

## (3)市町別の環境基準適合状況

市町別の環境基準適合状況を表1-4に示した。

「二時間帯」とも環境基準に適合した市町は諫早市、長与町、時津町であった。また、長崎市、大村市、佐世保市、島原市の順に適合率が低い調査結果であった。

表1-4 市町別・時間帯別の環境基準適合状況

		Αţ	頁型		B類型				C類型				合計			
	測	適部	合地点	数	測	適記	<b>合地点</b>	数	適合地点数 測			数	測	適合地点数		
	定地点数	二時間帯	昼間	夜間	定地点数	二時間帯	昼間	夜間	定地点数	二時間帯	昼間	夜間	定地点数	二時間帯	昼間	夜間
長崎市	13	13 100%	13 100%	13 100%	15	13 87%	15 100%	13 87%	12	9 75%	12 100%	9 75%	40	35 88%	40 100%	35 88%
佐世保市	8	8 100%	8 100%	8 100%	6	6 100%	6 100%	6 100%	15	13 87%	13 87%	13 87%	29	27 93%	27 93%	27 93%
島原市	2	1 50%	2 100%	1 50%	2	2 100%	2 100%	2 100%	3	3 100%	3 100%	3 100%	7	6 96%	7 100%	6 96%
諫早市	8	8 100%	8 100%	8 100%	9	9 100%	9 100%	9 100%	2	2 100%	2 100%	2 100%	19	19 100%	19 100%	19 100%
大村市	9	9 100%	9 100%	9 100%	9	7 78%	8 89%	8 89%	7	7 100%	7 100%	7 100%	25	23 92%	24 98%	24 98%
長与町	7	7 100%	7 100%	7 100%	2	2 100%	2 100%	2 100%	3	3 100%	3 100%	3 100%	12	12 100%	12 100%	12 100%
時津町	7	7 100%	7 100%	7 100%	6	6 100%	6 100%	6 100%	2	2 100%	2 100%	2 100%	15	15 100%	15 100%	15 100%
合計	54	53 98%	54 100%	53 98%	49	45 92%	48 98%	46 94%	44	39 89%	42 95%	39 89%	147	137 93%	144 98%	138 94%

\*下欄は適合率

\*その他の2地点は除く。